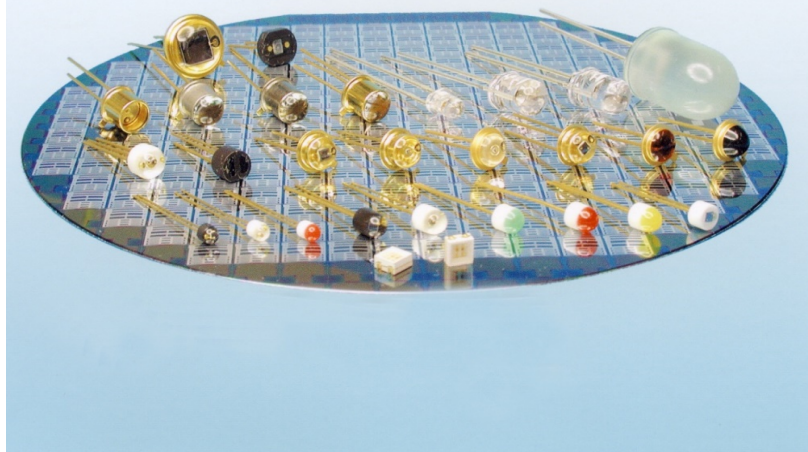


# 大倉電機株式会社

## 2023 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)

### Optoelectronics Device



作成日: 2024年5月20日

## 目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7-10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

大倉電機株式会社は、光半導体の製造・販売に係わる全ての活動、光半導体の製造および販売に対する環境影響を低減するために、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

安全で安心していただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

### <環境保全への行動指針>

- 1． 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2． 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3． 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制に努めます。
- 4． 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5． PTRT物資の使用量を管理し化学物質の適正管理に努めます。
- 6． RoHS2適合した部材を使用し、安心して安全な商品を効率よくお客様にお届けします。
- 7． グリーン購入に努めます。
- 8． 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日： 2019年6月5日

代表取締役社長 鈴木康之

## □組織の概要

## (1) 名称及び代表者名

大倉電機株式会社  
代表取締役社長 鈴木 康之

## (2) 所在地

本 社 京都府京田辺市大住姫垣内4-1

## (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 代表取締役 鈴木康之 TEL：0774-63-5866

## (4) 事業内容

光半導体の製造及び販売

## (5) 事業の規模

売上高 2620 万円

	本	社	0	0	0	合計
従業員	名	14 名	名	名	名	14名
延べ床面積	m <sup>2</sup>	860 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	860m <sup>2</sup>

## (6) 事業年度

4 月 1 日 ~ 3 月 3 1 日

## □認証・登録の対象組織・活動

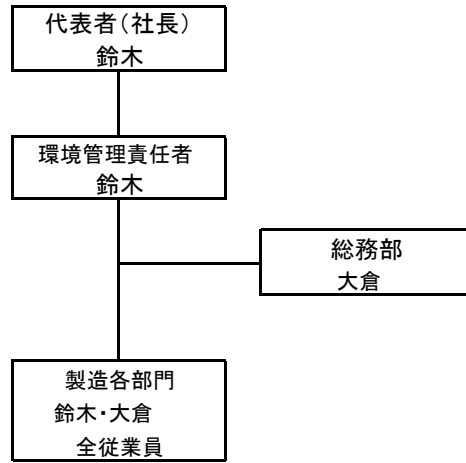
登録組織名： 大倉電機株式会社

対象事業所： 本 社

活動： 光半導体の製造及び販売

## □事業や製品(商品)の紹介

- 可視光発光ダイオード
- 赤外光発光ダイオード
- フォト・ダイオード
- フォト・トランジスタ
- スイッチングダイオード・チップ



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> <li>・環境管理責任者の補佐、の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)</li> <li>・環境経営計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
環境管理責任者 総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に関する内部監査の計画</li> <li>・環境に関する内部監査の実施・報告</li> </ul>
製造各部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	40,245	49,239	33,339
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	Kg	115	101	86
産業廃棄物排出量	Kg	97	164	183
水道水の使用量	m <sup>3</sup>	136	112	82

※二酸化炭素排出係数 0.36 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 2023年度電力会社の調整後の係数

※二酸化炭素総排出量には灯油も含む

□環境経営目標及びその実績

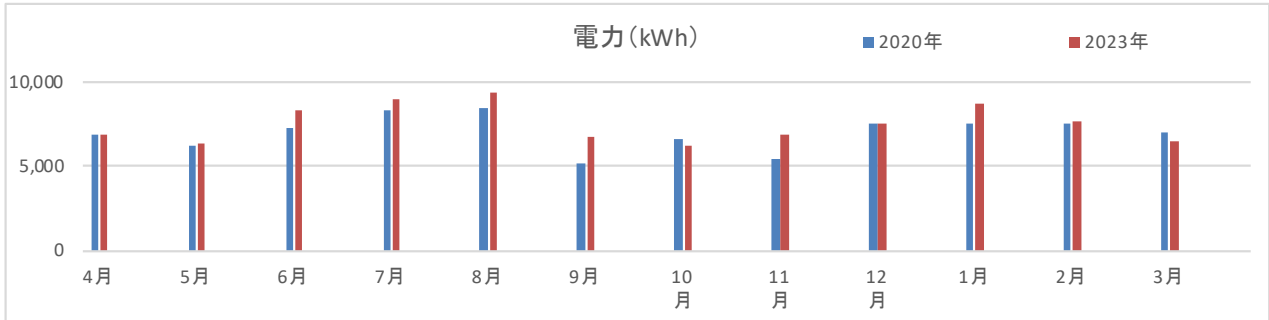
項目	年度	基準値	2023年		評価	2024年	2025年
		(2020年)	通期			(目標)	(目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	29,813	29,813	32,532	×	29,813	29,813
	基準年度比	2020年	100%	109%		100%	100%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	29,813	29,813	32,532		29,813	29,813
一般廃棄物の削減	kg	89	89	86	○	89	89
	基準年度比	2020年	100%	97%		100%	100%
産業廃棄物の削減	kg	368	368	183	○	360	353
	基準年度比	2020年	100%	49%		98%	96%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	112	112	82	○	112	112
	基準年度比	2020年	100%	73%		100%	100%
グリーン購入の推進 (オフィス用品G購入率)	行動目標(次項による) : 評価「○」						
環境に配慮した生産活動	行動目標(次項による) : 評価「○」						
化学物質の適正管理	行動目標(次項による) : 評価「○」						
地域への環境活動	行動目標(次項による) : 評価「○」						

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標: ○達成 ×未達成

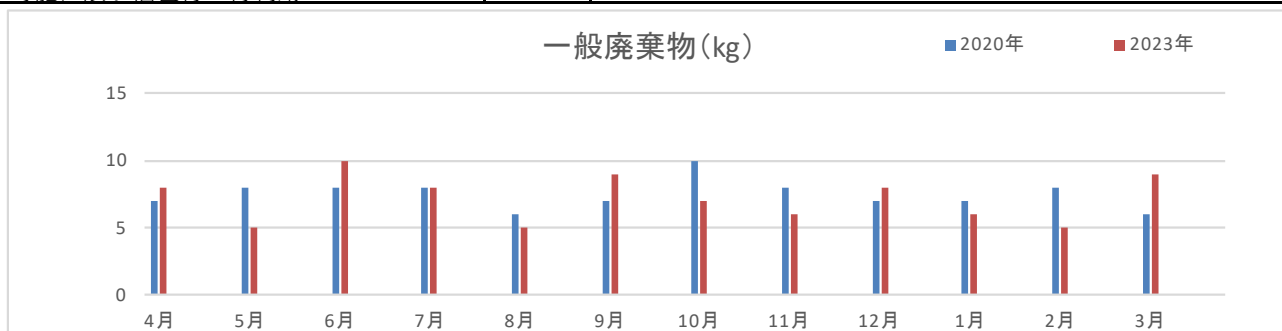
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	ここ数年、異常気象により外気温上昇のため夏場のエアコン稼働率が上昇している。2020年基準で評価をすると目標数値を大きく上回るため基準年の変更を検討する必要がある。 電力購入先を変更したことにより二酸化炭素排出係数が大きく下回ったことにより二酸化炭素排出量は下がった。
・空調温度の適正化	×	
・不要照明の消灯	○	
・効率のよい生産計画を立てる	○	
・圧縮空気を使う機器に開閉弁を付ける	○	
・不要な機器のブレーカー遮断	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	6,938	6,206	7,309	8,375	8,425	5,220	6,665	5,498	7,570	7,570	7,519	7,067
2023年	6,937	6,357	8,303	8,979	9,438	6,716	6,237	6,886	7,537	8,725	7,721	6,530

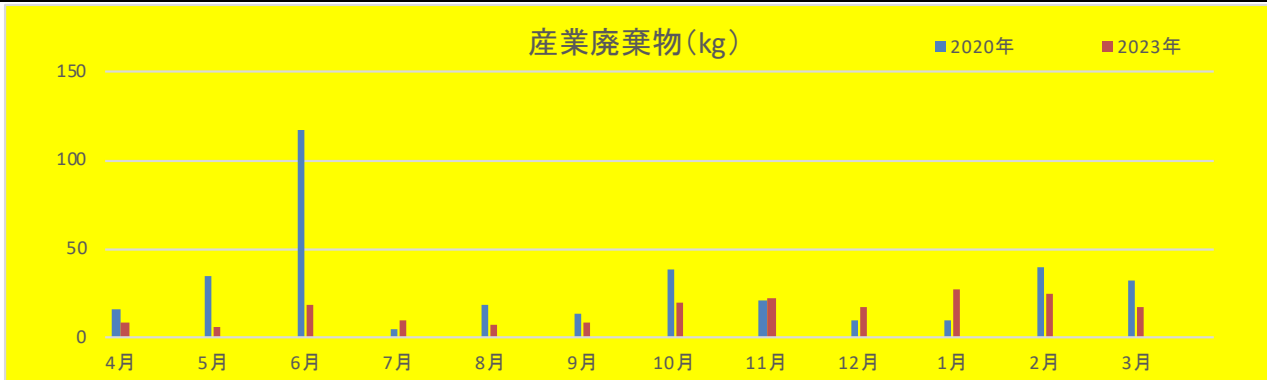
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	削減量に若干の変動はあるが、引き続き個人で発生させた昼食時のゴミ等は持ち帰っているのとペーパーレス化の効果は持続できていると思われる。 次年度も先手段を継続する。
・分別の徹底	○	
・シュレッダーの廃止	○	
・印刷物の削減（両面使用、ペーパーレス化）	○	
・可能に限り梱包材の再利用	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	7	8	8	8	6	7	10	8	7	7	8	6
2023年	8	5	10	8	5	9	7	6	8	6	5	9

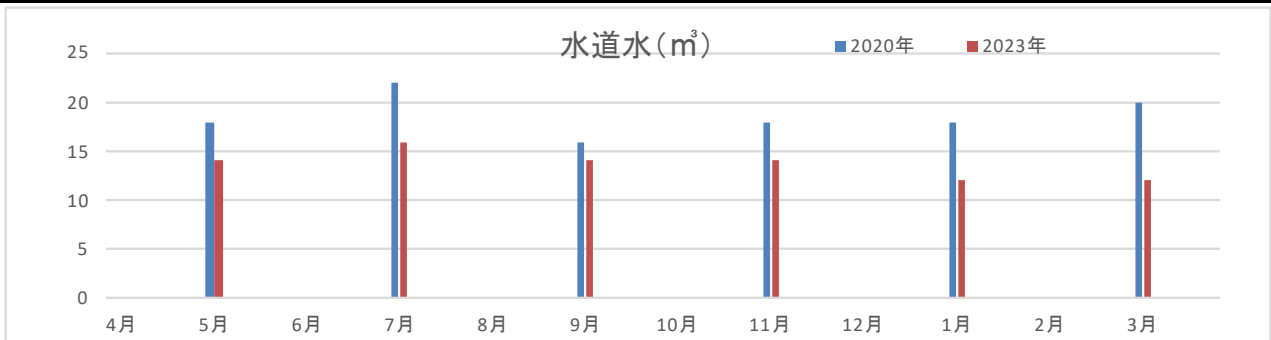


産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	金属くずの大半はリードフォーム製品の金属切断くずで部品の構造上、生産が増えると金属くずも増える事になるので大きな削減は困難な状態となっている。 その様に事もあるので作業ミスを減らし廃棄物削減を引き続き取り組む。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	○	
・有価廃金属の分別保管	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	16	35	117	5	18	13	38	21	9	9	40	32
2023年	8	6	18	10	7	8	19	22	17	27	24	17

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	次年度も引き続き節水に取り組む。
・節水シールの貼り付け	○	
・節水	○	
・		



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	0	18	0	22	0	16	0	18	0	18	0	20
2023年	0	14	0	16	0	14	0	14	0	12	0	12

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・有害性の少ない資材の購入	○	特に目標は立てていないが事務用品、衛生用品は省エネ、詰め替え対応の物を購入に心がける。 約20年ほど使用した大量の電力を消費する熱衝撃試験機を省エネ対応の物に買い替えた。
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	
・事務用品グリーン購入比率向上	○	
・		
環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・不良率低減	○	製造歩留まりも高く、市場クレームの発生もなかった。 使用する部材についてもROHS2品を使用している。
・稼働率向上	○	
・ROHS2適合材の使用	○	
・		
化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・SDS入手	○	適切に管理した。 リスクアセスメントを引き続き実施
・量の把握	○	
・リスクアセスメント	○	
・	○	
地域への環境活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・工場周辺の草取り・清掃	○	草取り・清掃を継続。工場前のバス通り近くまで清掃。 次年度も、同じ手段を継続する。
・コンプレッサの騒音漏れ	○	
・	○	
課題を解決しチャンスを活かす	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	今年から新たに目標に設定した。本来事業計画にも上げていたが、 EA21と連動させる。
・企業PRによる顧客開発	○	
・新製品・商品開発	○	

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、金属くず）
騒音規制法	空気圧縮機（3.7Kw）（該当しない（自主規制））
振動規制法	空気圧縮機（3.7Kw）（該当しない（自主規制））
PRTR法	液状エポキシ樹脂主剤 1ton/年以下
消防法（危険物）	暖房用灯油（遵守）
フロン排出抑制法	業務用空調機（定期点検・記録を実施。異常が無いことを確認。）
顧客要求事項	品質管理
労働安全衛生法	SDS、リスクアセスメント、化学物質管理責任者の選任

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。尚、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

**□外部からの環境上の苦情・要請等**

外部からは環境上の苦情・要請等はありませんでした。

**□緊急事態対応の試行・訓練**

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023年5月9日	■実施場所： 本社工場・乾燥器室
■参加者： 宍戸、岩屋、木村、奥村、江川、梅野、上井、西村、熱田、名取、関東、花田、尾田、藤田、松本、堀本、鈴木、大倉	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練	
■評価：	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難はスムーズに出来た。点呼も出来た。</li> <li>・出火想定場所への消火器移動も問題なく出来た。</li> </ul>	
■実施状況の様子	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も避難通路に物を置かない。</li> </ul>	

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年5月20日

### ●環境方針

環境方針については見直しの必要性はないため来年度もこの内容で行う。

電力購入先を変更したことにより二酸化炭素排出係数が0.587から0.366Kg-CO<sub>2</sub>/kWhとなりCO<sub>2</sub>排出量が-32.1%削減出来た。

### ●目標・活動計画

外気温上昇の為、夏場のエアコン稼働率が上昇、基準年の変更を検討する。

### ●次年度の取り組み

引き続き前年度の改善取り組みを継続します。

### ●総括

環境活動を長年行ってきたため大幅な削減案は出尽くした感があるため、小さな削減を積み上げ更なる環境活動に努めます。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり